

μ-PIC を用いたアクティブ標的 (**MAIKo**) のテスト実験結果

Friday 4 December 2015 15:55 (20 minutes)

不安定核実験において、前方確度で質量欠損分光法を実現させるために、京都大学、RCNP によって μ -PIC を用いたアクティブ標的 (MAIKo) が開発された。アクティブ標的では TPC の検出ガスを散乱の標的として用いて、散乱を TPC 内部で観測する。したがって、1 MeV 程度の低エネルギーの反跳粒子を検出することが出来る。

これまでに RCNP において ${}^4\text{He}$, ${}^{13}\text{C}$ ビームを用いて 2 度のテスト実験を行った。本講演では、MAIKo TPC におけるトラッキングアルゴリズムを紹介し、これを用いた解析結果について報告する。

Author: Mr FURUNO, Tatsuya (Department of Physics, Kyoto University)

Co-authors: Mr MURATA, Motoki (Department of Physics, Kyoto University); Prof. KAWABATA, Takahiro (Department of Physics, Kyoto University)

Presenter: Mr FURUNO, Tatsuya (Department of Physics, Kyoto University)